

## シェルバーン 8370/8371 ガスケット

	品番	サイズ	必要長さ
フロントドア	3110-059	3/8”(9.5ミリ)MED・ロープガスケット	160 cm
灰受け皿	3110-059	3/8”(9.5ミリ)MED・ロープガスケット	110 cm
ガラス	3110-056	1/4”(6ミリ)・ロープガスケット	150 cm
ガラスクリップ	3120-021	ガラスクリップ用ガスケットセクション	6 枚
	※ガスケットはハースストーン純正品のご使用をお勧めします。		
<b>用意するもの:</b>	ガスケットボンド (ここではインペリアル社のガスケットボンドを使用) はさみ、ドライバー、ワイヤーブラシ、作業用手袋、潤滑スプレー(必要に応じて)		

**始める前に** : 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。

### <フロントドアを外して行う場合>

ドアを開け、そのまま上へ持ち上げるとドアを外すことができます。外す前に、ヒンジピンとワッシャーの位置を確認し、慎重に作業してください。ヒンジピンとワッシャーは元に戻すときのためになくさないようご注意ください。ドアの正面を下にして、テーブルやワークベンチの上に置きます。エナメル塗装の場合には、表面を傷つけないようやわらかい布などを敷いて保護してください。

### フロントドア用ガスケット [3/8”(9.5ミリ)MED・ロープガスケット]

- 古いガスケットを取り除き、溝に残った汚れをワイヤーブラシで落とし、きれいに拭き取ります。
- 溝にガスケットボンドを塗布します。量の目安は溝高の3分の1程度です。ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガスケット全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガスケットが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
- そのまま10～15分ほど置いてボンドの粘着力が増してきたら、ガスケットを溝に押し込むように装着していきます。新しいガスケットがシール付の場合、ガスケットについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ装着してください。(ドアの蝶番側の中央から開始するのが一般的です。コーナーから開始するとガスケットがはがれやすくなります。)ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
- ドアを外して作業した場合には、ドアを本体に取り付けてください。一人がドアを持ち、もう一人がピンを入れるようにすると楽です。
- ドアを閉めて固定します。

### 灰受け皿用ガスケット [3/8”(9.5ミリ)MED・ロープガスケット]

- 灰受け皿を引き出し、フロントドアと同じ要領でガスケットを交換します。
- 灰受け皿を戻します。一番奥までしっかりとおさめたら、灰受けドアを閉めてください。  
※ ストーブをご使用時は必ず灰受け皿を納め、灰受けドアを閉めた状態でお使いください。

## シェルバーン 8370/8371 ガスケット

### ガラス用ガスケット [1/4”(6mm)・ロープガスケット]

ガラスには片面(表側)にコーティングが施されています。ガラスを外す前にマスキングテープで印を付けるなどして、表と裏を間違えないようご注意ください。

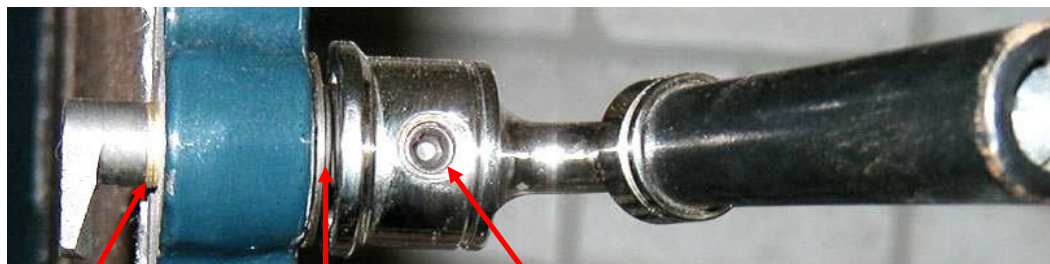
1. ガラスクリップを外します。(ネジが錆びついて外れにくい場合は潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてから外します)外したクリップ、ネジはなくさないようご注意ください。ガラスを慎重に外し、横に置いておきます。表と裏を間違えないよう印を付けるなどしてください。
2. 古いガスケットを取り除き、溝に残った汚れをワイヤーブラシで落とし、きれいに拭き取ります。
3. 新しいガスケットがシール付の場合、接着剤は不要です。ガスケットについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガスケットを溝に押し込むように装着します。ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
4. ガラスをドアにセットし、クリップとネジで固定します。クリップとガラスの間に、ガラスクリップ用ガスケットを装着してください。ネジをきつく締めすぎないようご注意ください。ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因となります。

#### 注意

- ※ 粘着テープ付のガスケットロープの場合でも、粘着力の弱いときはガスケットボンドで接着することをお勧めします。ガスケットについている剥離紙は必ず剥がしてお使いください。
- ※ ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガスケット全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガスケットが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
- ※ スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますのでご注意ください。
- ※ ガスケットを交換後は、ドアが閉まりにくくなる場合があります。なじんでくるまでは、ドアを閉める際にドアをしっかりと押し込んでからハンドルを回すようにしてください。解消されない場合には、ドアラッチの調整が必要となる場合があります。

ラッチの調整 (詳しくはラッチキット技術資料 [93-73701] をご参照ください)

ドアが閉まりにくい場合には、スペーサー(品番:4700-0790)を1枚ずつ追加していくことで調整可能です。



スペーサー(4700-0790)

3ミリほどの隙間

セット・スクリュー